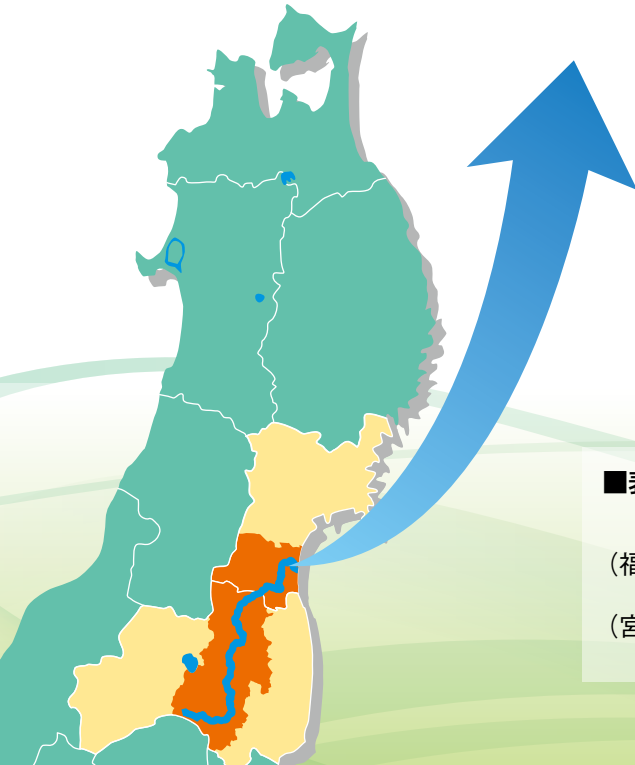
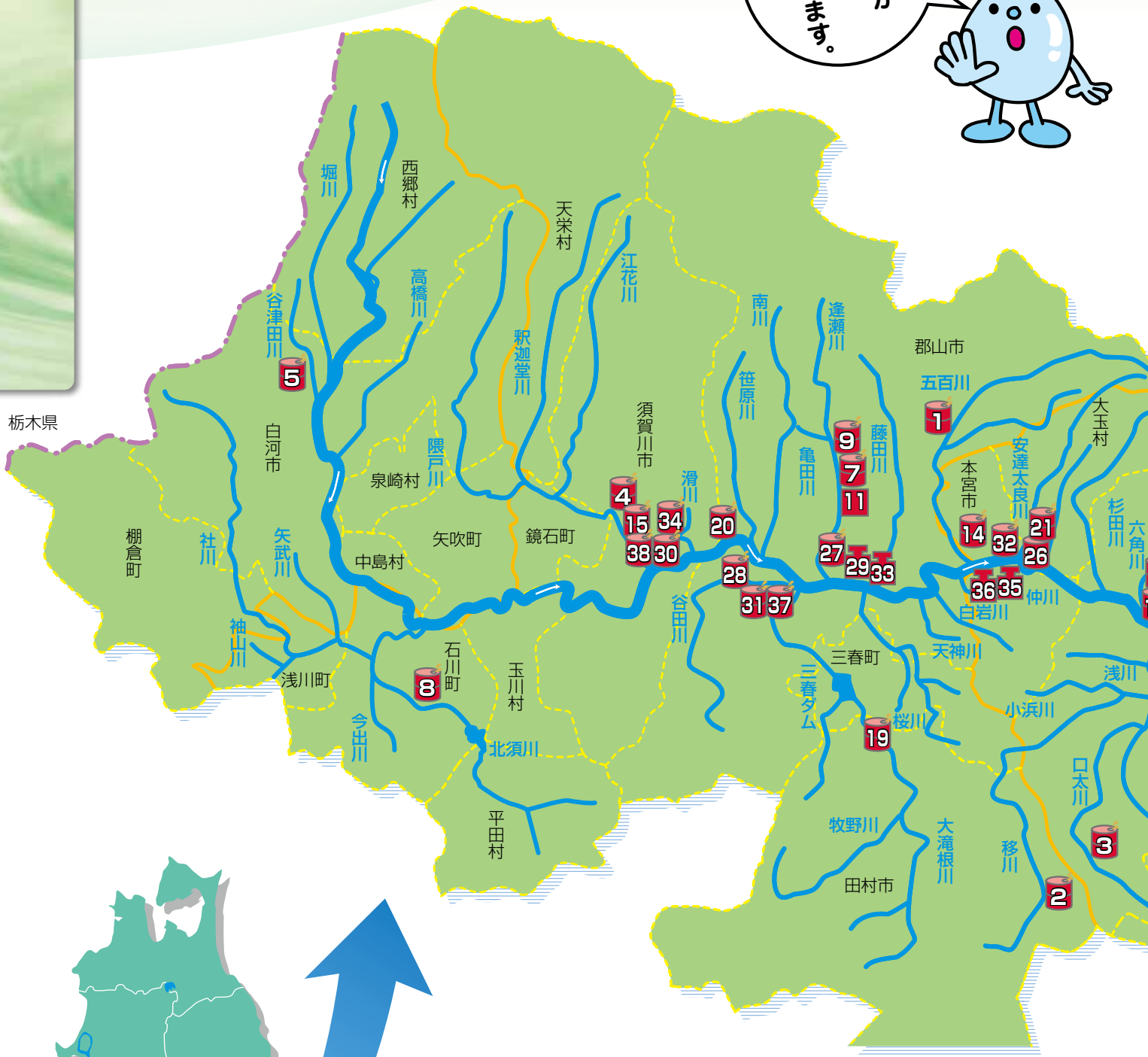


令和元年(2019)

阿武隈川水系 水質事故発生マップ

忘れないでください、
その水が川から来ていること

阿武隈川水系 水質事故発生マップ

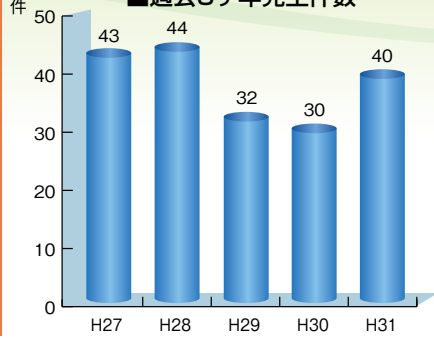


■表示の内容

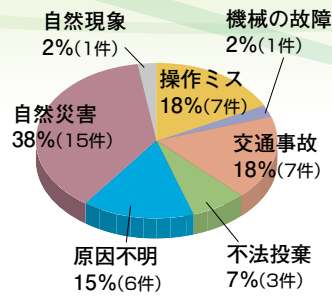
	油類	排水・汚泥等	化学物質	不明	自然現象	
(福島県)						地図上の位置 河川名 発生市町村名
(宮城県)						

	市町村界
	地域界
	県境
	主な河川 及び川の流れ

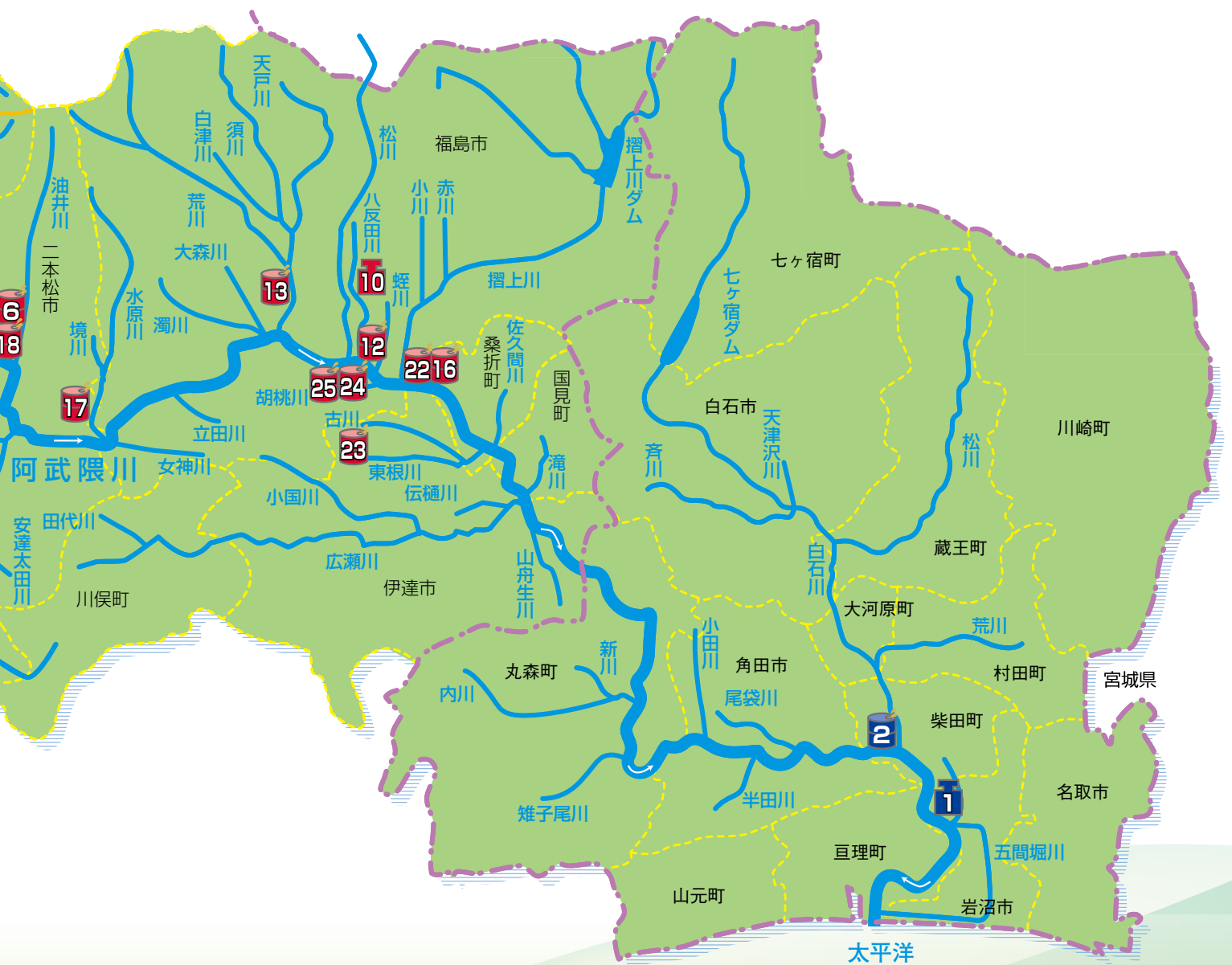
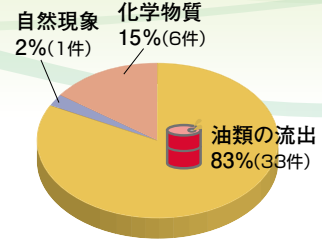
■過去5ヶ年発生件数



■発生原因別事故件数 (40件)



■事故内容別事故件数 (40件)



阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会とは…

本協議会は、水質調査や水質汚濁・河川環境の保全に関する資料及び情報の交換、水質事故等の緊急時の情報連絡、その他水質汚濁対策・河川環境保全の推進に必要な連絡調整を目的として昭和46年3月に設立されました。

構成機関は、国土交通省・経済産業省・福島県・宮城県・阿武隈川流域市町村及び消防本部で構成されています。

事故発生河川
及び事故内容

(抜粋)

1 五百川 (郡山市)

- 油類
- 平成31年1月4日
- 福島県郡山市熱海町熱海3丁目付近で重油の臭いがすると通報があり郡山消防本部が確認、付近の温泉施設で重油を側溝に流したことが判明。福島河川国道事務所、県中建設事務所がオイルフェンス、吸着マット等を設置し回収した。

2 北ノ作川 (田村市)

- 油類
- 平成31年1月7日
- 軽自動車単独事故で横転し、車から油が側溝に流出、三春土木事務所が北ノ作川(移川支川)にオイルフェンス、吸着マット等を設置し回収した。

3 口太川 (二本松市)

- 油類
- 平成31年1月10日
- 福島県二本松市戸沢地内で軽自動車移川支川口太川へ転落、消防本部、二本松市が現地を確認、流出量が少量であるが、流量・流速が早く回収は困難と判断。車両は2時間程度で撤去完了した。

4 釈迦堂川 (須賀川市)

- 油類
- 平成31年1月12日
- 須賀川横山町地内の工業団地から油が釈迦堂川に流出。消防本部、土木事務所が工業団地の水路にオイルフェンス、吸着マットを設置、福島河川国道事務所が阿武隈川合流点にオイルフェンス、吸着マットを設置し回収を行った。

5 谷津田川 (白河市)

- 油類
- 平成31年1月26日
- 白河市愛宕町地内燃料販売店で灯油タンクから他の容器に移し替え時に灯油60〜70ℓが水路〜阿武隈川支川谷津田川へ流出。県南建設事務所及び白河消防本部が谷津田川へ2カ所へオイルフェンス、吸着マットを設置し回収した。

6 鯉川 (二本松市)

- 油類
- 平成31年2月7日
- 二本松北小学校前の側溝に油が流れていると通報があり、二本松市、安達消防本部が阿武隈川支川鯉川への流出を確認、側溝で吸着マット等による回収を二本松市、安達消防本部で実施。二本松土木事務所が、側溝の河川流入部に吸着マット、智恵子の森橋上流付近にオイルフェンスを設置し処理を行った。

7 逢瀬川に接続する水路 (郡山市)

- 油類
- 平成31年3月7日
- 郡山市新屋敷2丁目地内で側溝を経由し逢瀬川に油が流出、油種・量、原因等は不明。県中建設事務所、郡山市、郡山出張所が現地を確認、道路及び側溝に灯油(推定)が少量流出しているのを確認し吸着マット等で回収。

8 北須川・社川 (石川郡石川町)

- 油類
- 平成31年3月8日
- 石川町中央公民館から東の水面(北須川)に油膜が浮いているとの通報があり、須賀川市消防本部、警察、石川町、石川土木事務所が上流に向かって調査したが油膜は現地確認出来なかった。

9 逢瀬川 (郡山市)

- 油類
- 平成31年3月10日
- 郡山市片平町清水台地内の民家から重油が流出、側溝を経由し逢瀬川支川馬場川に流出、民家の重油タンクの破損が原因。郡山消防、郡山市、県中建設事務所が現地を確認し、国、県、市がオイルフェンス、吸着マットで回収を行った。

10 八反田川支川耳取川 (福島市)

- 化学物質
- 平成31年3月17日
- 福島市南矢野目オノ後地内の耳取川で白濁水が流れていると、通報があり、福島市が現地を確認したが確認出来なかった。当該箇所の採水を行い、分析した結果、イオウ成分が高かったため病虫害駆除用の石灰硫黄合剤の可能性がある。

11 逢瀬川 (郡山市)

- 自然現象
- 平成31年4月10日
- 郡山市富田町並木2丁目地内の逢瀬川で油膜が見えると通報があり、郡山市、県中建設事務所、福島河川国道事務所が現地を確認した結果、油は無いことが判明、原因は鉄バクテリアによる油膜状物質が出たものであった。

12 阿武隈川 (福島市)

- 油類
- 平成31年4月23日
- 福島市瀬上町月輪大橋付近の阿武隈川に油膜が見えるとの通報があり、福島河川国道事務所が現地確認した結果、鎌田大橋〜昭和橋までの間で油膜を確認した。周辺調査を行ったが、発生源等は確認されなかった。福島河川国道事務所が、オイルフェンス・吸着マットにより滞留している油の回収を4/23〜26に実施した。

13 荒川へ流入する側溝 (福島市)

- 油類
- 平成31年4月26日
- 福島市八木田水神地内荒川支川古荒川に油が流れていると福島市吉井田支所に通報があり、福島市、福島消防本部、福島河川国道事務所が現地確認したところ、油膜・油臭ともに確認されなかった。

14 阿武隈川支川瀬戸川 (本宮市)

- 油類
- 令和元年5月31日
- 本宮市青田前田地で交通事故によりトラックからエンジンオイルが流出、消防本部が吸着マット等を設置し流出は止まったがオイルが一部下流に流出したことから、福島河川国道事務所及び福島県で、発生地点〜阿武隈川合流点までの区間を確認した結果、油膜・油臭は確認されなかった。

15 釈迦堂川 (須賀川市)

- 油類
- 令和元年6月17日
- 須賀川市より国道4号下の釈迦堂川で油が流れているとの通報があった。釈迦堂川に流入する樋門から油が流出した模様で樋門は閉めた。発生源は不明。福島県が樋門堤外水路にオイルフェ

ンスと吸着マットを設置し回収を行った。

16 新堀川 (伊達市)

- 油類
- 令和元年6月21日
- 伊達市伏黒字南本場地内の事業所内走行中に鉄板を跳ね上げ、燃料タンクを損傷し、軽油が流出、流出量は25〜35ℓ。敷地内から側溝を経由し新堀川に流出。消防本部により、敷地内、側溝等の油の回収も実施。国、県で現地を確認し油膜は確認されなかった。

17 弘川 (二本松市)

- 油類
- 令和元年6月24日
- 道の駅あだち付近の県道で交通事故により軽自動車からエンジンオイルの流出し一部河川へ流出した。消防本部が吸着マットで回収し、河川への流出は止まった。県・市・国で弘川下流まで確認し、流出箇所直近の橋でのみ油膜が確認された。

18 鯉川 (二本松市)

- 油類
- 令和元年7月29日
- 2tトラックが側溝のふたを跳ね上げ燃料タンクを損傷し軽油が約45ℓ流出し、付近の側溝を経由し鯉川に流出した。国交省、福島県、二本松市が現地を確認、市、消防が鯉川へ流入する水路等に吸着マットを設置、福島県が下流の鯉川橋付近にオイルフェンス、吸着マットにより回収を行った。

19 大滝根川 (田村市)

- 油類
- 令和元年8月9日
- 田村警察署より大滝根川で油が流れているとの連絡があり、現地を確認したところ、個人宅ホームタンク大小2個の小分け作業中、作業を忘失し外出し流出。流出量は100ℓであることを確認した。三春土木事務所が大滝根川にオイルフェンス、流入水路等3箇所に吸着マットを設置し油の回収を実施、三春ダム管理所が、ダム流入部にオイルフェンスを設置、油の回収が完了するまで存置。

20 準用 荒川 (郡山市)

- 油類
- 令和元年8月15日
- 準用河川・荒川で灯油の臭い・油膜が見えると福島河川国道事務所へ連絡があり、現地を確認、通報箇所から阿武隈川合流点までの間では、油膜、油臭は確認されなかったが、付近の県道の側溝で油の痕跡と油臭が確認された。周辺を確認し流れてきた痕跡が無いと推定、投棄されたものと推定。また、追加流出が無いことを確認した。

21 安達太良川 (本宮市)

- 油類
- 令和元年8月29日
- 阿武隈川で油が流れていると福島河川国道事務所へ連絡があり現地を確認、付近の介護老人保健施設でタンクローリーから給油中の操作ミスでA重油約400ℓが安達太良川、阿武隈川に流出。原因者等が施設内の油の回収、二本松土木事務所が安達太良川2箇所にオイルフェンスを設置、福島河川国道事務所が阿武隈川で油の回収を行った。

22 新堀川 (伊達市)

- 油類
- 令和元年8月30日
- 伊達市伏黒八反田地内での交通事故により燃料油等が流出、消防本部による事故現場及び側溝での油の回収、福島河川国道事務所が阿武隈川合流点付近にオイルフェンスを設置し回収を行った。

23 東根川 (伊達市)

- 油類
- 令和元年9月26日
- 伊達市保原町富沢明利作地内でホームタンクから灯油を小分け作業中失念し灯油を流出させた。伊達市消防本部へ連絡があり、現地を確認した結果、前日に油を流し、本日になって、河川で油膜があるのを見て通報したとのことで、消防本部が、2カ所にオイルフェンスを設置、保原土木事務所、伊達市により吸着マット等での油の回収を行った。

24 胡桃川 (福島市)

- 油類
- 令和元年10月13日
- 農家のビニールハウス暖房用A重油200ℓ程度流出。当該地域は冠水しており、油が周囲の畑や田んぼに拡散。福島市及び福島市消防本部が回収を実施。一部、胡桃川へ流出を確認、流量が多く処理が不可能。14日県北建設事務所、福島市、福島市消防本部により回収を実施。

25 胡桃川 (福島市)

- 油類
- 令和元年10月13日
- 農家のA重油タンクが冠水により転倒し100ℓ程度流出。福島市及び福島市消防本部が回収を実施。一部、胡桃川へ流出、流量が多く処理不可能14日、県北建設事務所、福島市、福島市消防本部により回収を実施。

26 安達太良川 (本宮市)

- 油類
- 令和元年10月14日
- 10月14日14:18 本宮市本宮下町地先の安達太良川合流点の阿武隈川に油膜があるのをパトロール中の巡視員が発見。福島県二本松土木事務所、本宮市生活環境課が回収を実施。

27 逢瀬川 (郡山市)

- 油類
- 令和元年10月14日
- 郡山市横塚3丁目の仲江堤樋門から逢瀬川に油膜が出ているのを郡山市職員が発見。樋門周辺は冠水しており、発生源等は特定できない。郡山市、福島県で吸着マット、オイルフェンスを設置し、油を回収、減水後、原因者を特定し原因者による回収も実施。

28 阿武隈川 (郡山市)

- 油類
- 令和元年10月14日
- 郡山市田村町金屋上川原地内の事業所から福島河川国道事務所へ「浸水の影響で工場内のエンジンオイル及び廃油が工場北の住宅地へ流出しそうであるが、吸着マットが不足しているため油が回収できない」との連絡があったため、郡山出張所で保管する吸着マットを支給。原因者が回収を行い、阿武隈川等への流出はない。

29 阿武隈川 (郡山市)

- 化学物質
- 令和元年10月16日
- 令和元年10月16日午後4時頃、浸水被害確認のため、(株)MTIに郡山市職員が立入調査を行ったところ、水没により生産ライン及び薬品保管庫からシアン化ナトリウムの流出を確認。工場出口調整池の貯留水を採取し水質検査を実施した結果、午後8時に23mg/ℓの濃度のシアン化合物を検出。検査結果判明後、保健所により周辺の浸水家屋住民への周知と避難所への避難の呼びかけを実施。翌17日より福島河川国道事務所、福島県、郡山市による周辺地域の水質検査を開

始し、10月20日以降11月8日まで20日間、環境基準値を下回っており、工場内中和処理施設の仮設電源による稼働により排水基準以下に排水処理が可能となったため11月8日で河川への流出に係る水質事故対応を終了。

30 釈迦堂川 (須賀川市)

- 油類
- 令和元年10月17日
- 須賀川市崩免地内の側溝で油膜が見られるとの連絡があった。須賀川市、福島県県中地方振興局が現地を確認、エンジンオイル等が入ったドラム缶が倒れておりそこから流出。冠水後周辺は水が引いて泥だらけの状態で、拡散していない。

31 谷田川 (郡山市)

- 油類
- 令和元年10月18日
- 10月18日13:38頃、工業者が郡山市田村町下行合上河原地内谷田川橋付近で川幅に油膜が出ているのを発見、県中建設事務所が谷田川にオイルフェンス設置。10月25日谷田川への油膜の流出がなくなったためオイルフェンス撤去。

32 阿武隈川 (本宮市)

- 油類
- 令和元年10月18日
- 安達橋付近の阿武隈川に油が浮いているとの通報があり、本宮市と消防本部が現地を確認、太郎丸地内の樋管周辺に溜まっていた油を吸着マットで回収、本宮市本宮字土樋地内の民家のホームタンク(容量200ℓ)2基から浸水のため流出。

33 阿武隈川 (郡山市)

- 化学物質
- 令和元年10月18日
- 10月18日、郡山市が別件のシアン流出事故対応中、流出ルートとは別の側溝からシアンが簡易検査で検出された。郡山市が土嚢で側溝を封鎖し、(株)サンビックス工場建屋基礎から、シアン含有水が染み出ているのを発見。流出原因については、不明であるが、工場内の廃液槽からの回収、流出先の側溝の土嚢等についても回収作業を実施し、19日午前1時に原因者による回収作業が終了。新たな流出防止のため工場基礎部の補修を行い、流出がないことを確認、工場内中和処理施設稼働により排水基準以下に排水処理が可能となり、10月28日で水質事故対応を終了した。

34 滑川 (須賀川市)

- 油類
- 令和元年10月24日
- 須賀川市仁井田字関下地内前田2号樋門より油が流れていると情報があり、須賀川市、須賀川土木事務所が現地確認を行い、何者かが側溝に油を含んだ布(雑巾)を投棄したことを確認、須賀川土木事務所が回収し、オイルフェンス設置。10月25日須賀川土木事務所が撤去。

35 阿武隈川 (本宮市)

- 化学物質
- 令和元年10月25日
- 福島県より本宮市糠沢地内の(有)アイシー産業より有害物質(トリクロロエチレン、ジクロロメタン)

の入ったドラム缶等が10月12日に阿武隈川へ流出したと連絡があった。10月28日福島河川国道事務所が水質調査3地点を行い、環境基準値以下であることを確認した。また、流出したドラム缶等については、現在も回収中である。

36 阿武隈川 (本宮市)

- 化学物質
- 令和元年10月28日
- 福島県より本宮市糠沢地内の本宮アルマイト工業(株)より有害物質(フッ化水素アンモニウム10%溶液)及び同物質の入った500ℓ入りタンク2個が10月12~13日に阿武隈川へ流出したと連絡があった。10月19日福島県が水質調査3地点を行い、環境基準値以下であることを確認した。

37 谷田川 (郡山市)

- 油類
- 令和元年10月28日
- 福島県職員が現地調査の際、郡山市水門町地内水門町排水樋管付近で油膜が出ているのを発見し、福島河川国道事務所、郡山市、消防本部に連絡。福島県がオイルフェンス及び吸着マットを設置し回収を行った。

38 釈迦堂川 (須賀川市)

- 油類
- 令和元年10月29日
- 須賀川土木事務所より釈迦堂川の須賀川樋管から油が流れているとの情報が入り、福島河川国道事務所が現地を確認し須賀川樋管呑口部に簡易オイルフェンスを設置、吸着マットによる回収を実施。



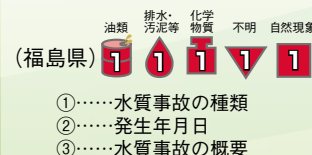
1 五間堀川 (岩沼市)

- 化学物質
- 令和元年10月2日
- ・TOYO TIRE(株)仙台工場で設備の改修工事中、タンクのひび割れより、水路を通って五間堀川に次亜塩素酸ソーダが流出
・河川管理者によるパトロールで魚類の斃死確認。
・原因者による五間堀川排水口にて残留塩素濃度調査で検出限界であることを確認。

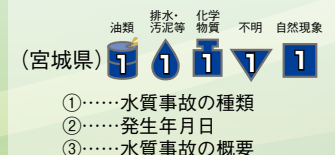
2 白石川 (柴田町)

- 油類
- 不明
- ・堤内地にて油膜確認。付近一帯が冠水しており原因不特定。
・オイルマット設置し、神明排水樋管及び深川排水樋管をゲート操作(深川排水樋管にオイルフェンスを設置)。

■表示の内容



■表示の内容



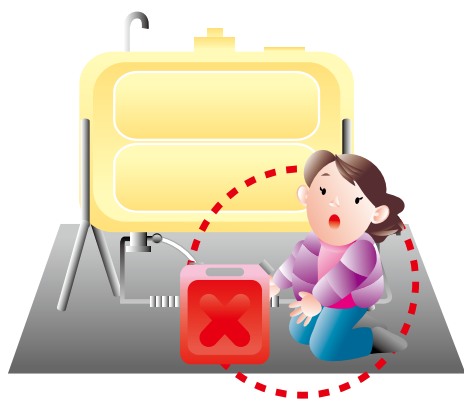
タンクからの 油流出事故にご注意!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。その多くは、うっかりミスや故障などが原因です。給油中は目を離さず、また配管などの定期点検に努めましょう。

ご家庭のホームタンクは大丈夫?

流出事故を防ぐための心掛け

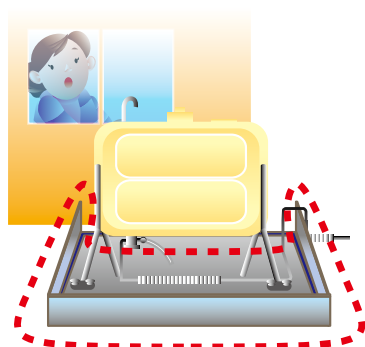
① その場を離れない



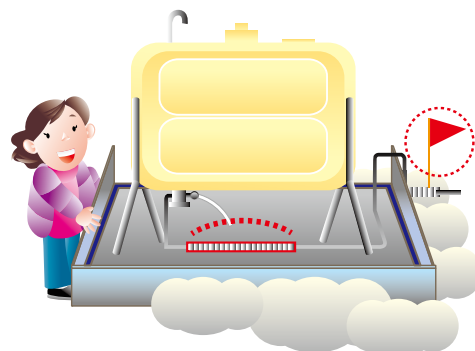
② 定期点検を怠らない



③ 防油堤設置で安心



④ 配管場所には目印を



ホームタンクからの 油流出事故にご注意!



油の流出などの水質事故により設置したオイルフェンスや油吸着マットなどの設置経費は、原因者の負担となります。

💧 水質事故とは

川に油や化学薬品などが流れ出ると、水が臭くなったり、魚が死んだり、水が使えなくなったりします。また油の量が多いと火災のおそれもあります。

💧 水質事故の傾向

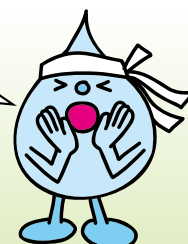
事業所では施設の劣化、保管状況の点検不備、機械類の操作ミスによる油等の流出があります。一般家庭では暖房用灯油ホームタンクの栓の閉め忘れや、交通事故等を原因として水質事故が発生しています。

不注意から水質事故になることが多いので、日頃の点検や作業手順の確認をして水質事故を防ぎましょう。

発生もしくは
発見したら

水質事故

被害を
最小限に



直ちに仙台河川国道事務所・福島河川国道事務所や宮城県(土木事務所)・福島県(地方振興局)・市町村・消防署・警察署へご連絡ください。



川へのやさしさは、 人へのやさしさです。


あなたの捨てた水を、下流の人々が利用しています。

あなたは、汚していませんか？ 大切な水を…。

暮らしの中で出される「生活排水」を、魚の棲めるきれいな水にするためには、これだけの水が必要です。あなたは、自然に大きな負荷をかけていませんか。

 <p>味噌汁 (200ml) 1,500ℓ必要 (浴槽5杯分)</p>	 <p>お米のとぎ汁 (約2ℓ) 1,200ℓ必要 (浴槽4杯分)</p>	 <p>牛乳 (200ml) 3,000ℓ必要 (浴槽10杯分)</p>	 <p>日本酒 (1合・180ml) 7,200ℓ必要 (浴槽24杯分)</p>	 <p>そして 使用済み天ぷら油 (500ml) 99,000ℓ必要 (浴槽330杯分)</p>
---	--	---	---	---

私たちは、知らない間に川を汚しています。家庭から出る生活排水は、污水处理施設(下水道・集落排水・合併浄化槽)へ流しましょう。

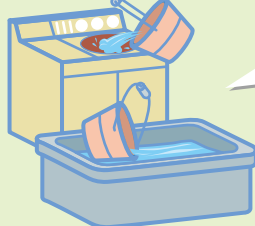


料理に使った揚げ油を流すのは、汚染の原因です。
油を分解するためには、大量の水と時間が必要です。

対策 油はゲル状に固め、ゴミと一緒に捨てましょう。


味噌汁、米のとぎ汁も汚染の原因です。
あたりまえのように、排水口に捨てていませんか？

対策 食べ残しをしないよう心がけましょう。また、無洗米を使うと、とぎ汁が出ません。



節水のため、お風呂の残り湯を使いましょう。
お湯で洗うと洗浄力もアップします。また、洗剤はリンを含まないものを使いましょう。

ポイント 汚れていないお湯は、捨てずに沸かして2度使いましょう。



排水口に古いストッキング、細かいゴミも取り除きます。
ちょっとした工夫が、美しい水環境を守ります。

ポイント 下水に流れ込んだゴミは、ネズミ等の発生を促す原因となり、家庭環境への影響も懸念されます。

図画部門 特選

令和元年度

児童図画コンクール

ポスター部門 特選

<p>上流部 [郡山市] 星 智絵さん</p>  <p>下流部 [岩沼市] 佐藤果琳さん</p> 	<p>上流部 [平田村] 吉田華穂さん</p>  <p>下流部 [丸森町] 坂本真帆さん</p> 
---	---

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

上流支局事務局

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
〒960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36
TEL (024) 546-4331

下流支局事務局

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
〒982-8566 宮城県仙台市太白区あすと長町四丁目1-60
TEL (022) 248-4131